

吹奏楽研 インドネシアへ

|| 活発な夏季活動 ||

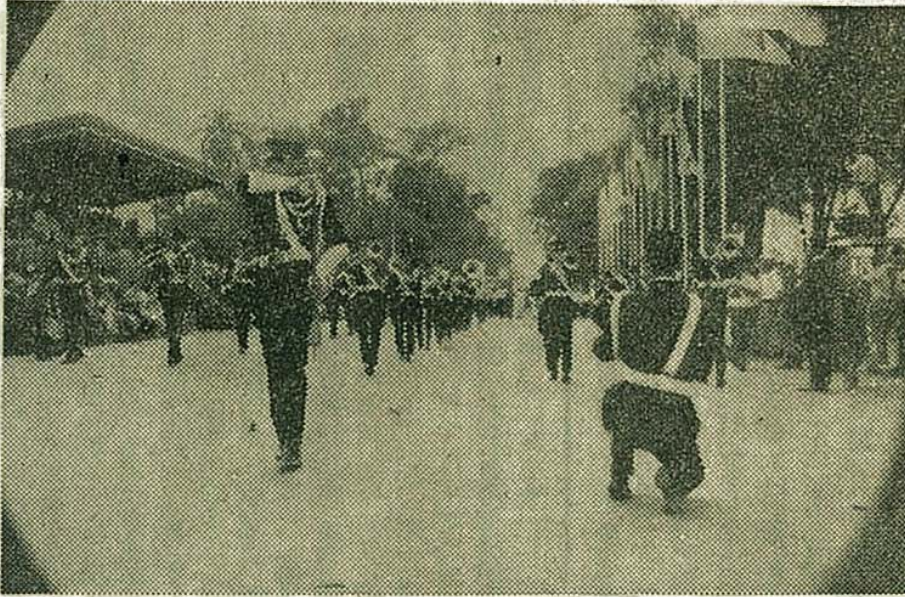
女子四人、米大陸を横断

夏季休暇は、各サークルが最も活発に活動する期間であるが、今回の休暇もその例にもれず各方面で個人では不可能な、かつこの長期でなければ成果のあがらない研究調査が行われた。

まず、体育会自動車部の塩屋監督を隊長とするアメリカ大陸横断女子遠征隊の一行五人は、七月二日横浜港をたち、サンフランシスコ

日ジャカルタで開かれたインドネシア独立二十周年記念祝典に招待され、同研究会佐藤力男監督を隊長とする総勢五十二人のメンバーが八月十四日、羽田を出発。独立記念式典に参加したあと、ジャカルタ市内のパレードをはじめスマトラ、レンバン、バリ、バンドンなどを演奏旅行して民間親善につくし、三

本完全一周を行なった。今回の一周は、全国を五区に分け、延べ約百人の会員が参加して乗用車四台に分乗し、各地でドライブ・アンケート、住民調査など交通に関する適任・意識調査を行なった。そのほか、歯学部医療保障研究会の木所正直教授、森本基助教を責任者とする一行約二十人は八月七日から八日間、山梨県



童文化研究会などの文化サークルおよび体育会各部が台宿などを行ない、この休暇を有効にした。【詳報は四、五面】